

令和8年度

# 学校説明会



## 令和8年度 学校説明会次第

1. 学校教育目標と学校経営方針
2. 教育重点目標の具現化に向けて
3. 各学年の目標と取り組みについて
4. 学校評価アンケートについて
5. 児童支援について
6. 安心・安全な学校づくりについて



令和8年5月8日（金）

川崎市立片平小学校



片平小ホームページ  
随時更新中です



# 1. 学校教育目標と学校経営方針

片平小学校では、創立以来掲げてきた「風になろう わになろう かたひらの子」の学校教育目標のもと、なかよく語り合い協力しあう、豊かな人間性を育む教育の実現を目指し、日々教育活動を進めています。

子どもたちにとって学校は全てが学びの場です。小学校では、学年に応じた各教科の学びの中で、探究的に学び続けるための学習の基盤をつくること、また日々の教職員や仲間との関わり、体験活動や行事などを通して、多様性を認め、互いの人格を尊重しながら、協力・協働しあえる人間性や社会性を育むこと、さらに、一人一人の長所を見出して、自己肯定感を高め、その個性・能力の伸長を図っていくことが重要であると考えています。

急速に変化する社会にしなやかに適応し、たくましく生き、豊かな人生を送ること、社会に参加・貢献することで生きがいをもつことができるような人間に成長してほしい。そんな願いが込められた教育目標です。そのために私たちは視野を遠くに広げ、子どもたちがより自主・自立し、より共生・協働していく姿を具体的に描きながら日々の教育活動の改善と充実を図っていくことが求められています。

予測困難な社会であればこそ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、それぞれが思い描く幸せに向かって歩を進めていける子どもたちを育てていきたいと考えています。

## <めざす子どもの姿>

- ・**学び続ける子**・・・学ぶ楽しさを味わいながら、自分を高め、生涯にわたり学び続ける基礎力を育てる。
- ・**考えて実行する子**・・・主体的に人・もの・ことに関わり、協働する力を育てる。
- ・**やさしくたくましい子**・・・豊かな心と健やかな身体で、よりよく幸せに生きる力を育てる。

## <7つの重点目標>

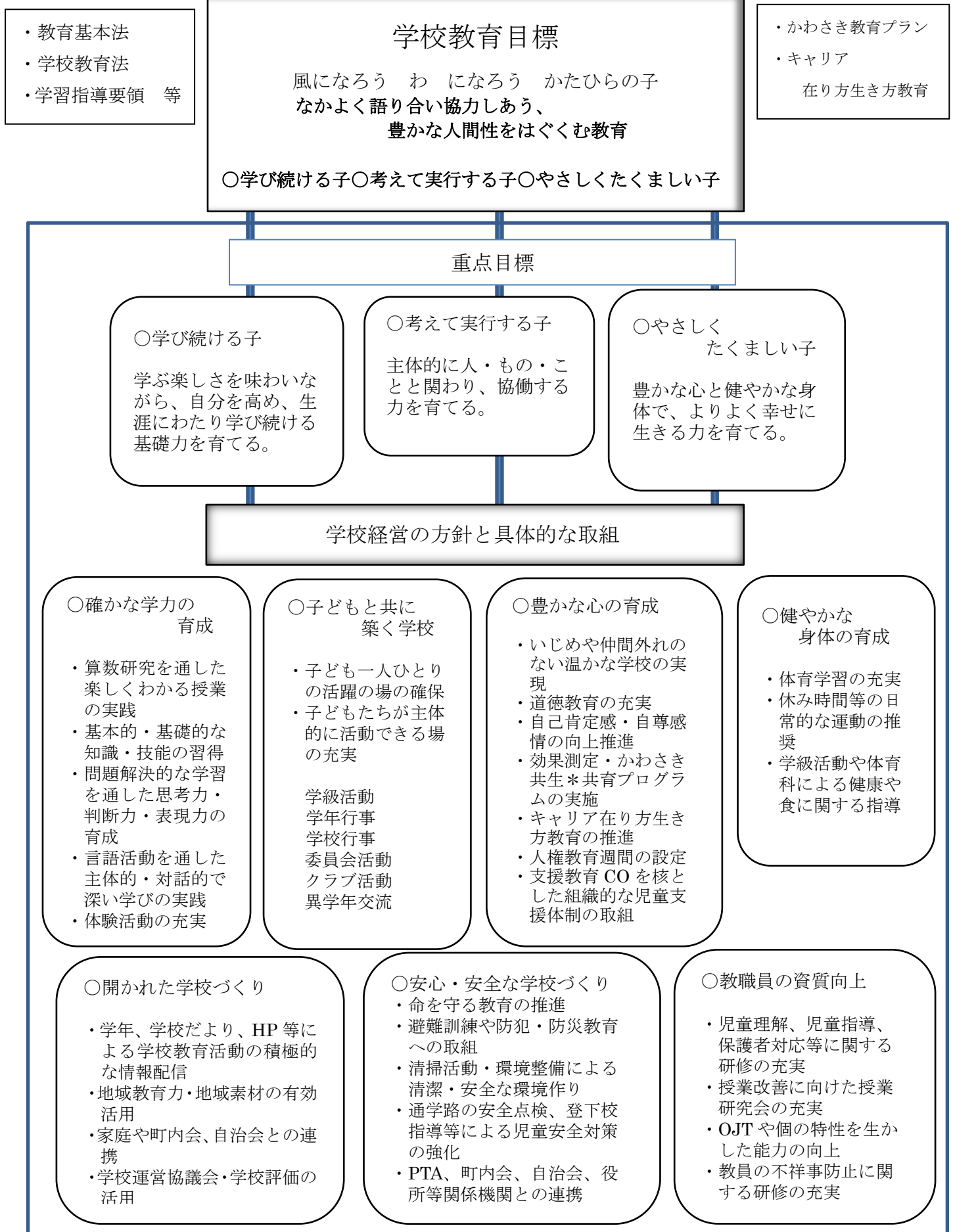
- ・確かな学力の育成
- ・子どもと共に築く学校
- ・豊かな心の育成
- ・健やかな身体の育成
- ・開かれた学校づくり
- ・安心・安全な学校づくり
- ・教職員の資質向上

片平小学校が、子どもたちが主体的に学び、獲得した知識や技能を今後の生活に生かそうとするような学校、仲間や様々な人や物事と関わり、認め合い、学び合うことで更に自分を高め、豊かな人間関係が育まれるような学校となるように努めてまいります。本校を卒業したあとの長い人生を、心身ともにたくましく、生きがいのある充実したものにできることを願って、将来につながる基礎づくりをめざします。

教職員で力を合わせ、子どもの思いを生かし、一人一人が輝ける、笑顔あふれる学校でありたいと思っています。

保護者の皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

学校長 朝比奈 浩



## 2. 片平小の教育重点目標の具現化に向けて

### (1) 探究的な学び

片平小学校の子どもたちには、変化が激しく予測が難しいこの時代を、たくましく生きぬいてほしいと思います。そして、子どもたちには、今後経験する人生の中の数々の課題に対して、自ら向き合い自分で判断したり、臨機応変に対応したりして困難を乗り越える力を身に付けてほしいと願っています。その基盤作りとして、小学校時代に「探究的な学び」を重ねることが大変重要であると考えます。

#### 探究的な学び

##### ○自分なりの課題を見つけて取り組む学習

- ・楽しくわかる授業（授業導入の工夫・学習題材の工夫・体験学習など）を通して自分で問題を発見し、課題に向かって意欲的に学ぶ。
- ・学習の基礎・基本の定着を図る。

##### ○見通しをもって、粘り強く取り組む学習

- ・どのようなゴールを目指すかを意識して主体的に取り組み、他者と共に考えながら試行錯誤するなど、具体的な手立てを工夫しながら最後までやり遂げる。
- ・他者とのかかわり（友達・先生・地域・本などとのかかわり）を効果的に利用する。

##### ○学習を振り返り、身につけたことを自覚できる学習

- ・毎時間、または単元ごとに学習を振り返り、学んだことを日々の生活や次の学びに活用する。

### 校内研究について

本年度、本校は昨年に続き算数科を研究の柱に据え、新たに「川崎市小学校算数科教育推進校」の指定を受けました。これに伴い、研究授業を年6回に拡充し、外部講師の招聘や教員間の研鑽を深める機会を増やしてまいります。

目指すのは、子どもが主体的に問い、他者と関わり合いながら学びを深める授業です。学年の実態に応じ、互いの考えを伝え合う中で新たな視点に気づき、思考を広げる手立てを教職員一丸となって追求します。子どもたちの資質・能力向上に向け、私たち自身も共に学び続けていく所存です。

なお、例年通り研究日には授業をするクラスは5校時まで、その他のクラスは4校時までとして設定させていただきますので、ご了承ください。



## (2) 協働

主体性をもった子どもたちが、何らかの目標を共有し、ともに力を合わせて活動することが協働です。学校生活の中で、仲間や教職員と協力したり、意見を出し合ったり、また互いの意見が違うときには、折り合いをつけたりしながら、他者との良好な関係作りができる力をつけることも、幸せな人生を生きていく上でとても大切だと考えています。

片平小学校では協働として、「それぞれの弱点を補うこと」「それぞれの強みを活かし合うこと」「一人での活動よりもより高いレベルの活動ができること」などを大切にし、子どもたちには、実際の活動の中でそれらの理解を深めてほしいと思います。

### 協働に向けて大切なこと

#### ○仲間意識を育む

- ・ 共通の目的をもち、子どもたちの仲間意識を広げていく  
個人→グループ→クラス→学年→異学年→学校全体→地域
- ・ 助け合うことの大切さを知る

1人ずつ意見を言おう。



みんなで力を合わせると楽しいな。



#### ○自己理解・他者理解を深める

- ・ 自分を知る・気づく
- ・ 自分の得意なこと 苦手なことに気づく 知る
- ・ 自己肯定感を高める
- ・ 相手を知る
- ・ 相手の得意なことやよさを知る

そういう考え方もあるね。



ぼくはみんなが気持ちよく動けるA案がいいな。

#### ○協働する経験と協働するための手立てを知る

- ・ 活動に対する思いを出し合う
- ・ 計画をたてる
- ・ 役割分担をする
- ・ 個人でも集団でも達成感をもつ
- ・ 振り返りをする

あいさつ運動で明るい学校にしたいな。



元気なあいさつは気持ちがいいよね。

### 協働の場として

学級活動

委員会活動

クラブ活動

実行委員活動

共生\*共育

道徳

学校行事

等

### 3. 各学年の目標と取り組みについて

#### 学校目標の3本柱から

学び続ける子

考えて実行する子

やさしくたくましい子



#### サポート級

|        | 〇できた!を増やしていく子                                 | 〇進んでやる子  | 〇仲良くする子   |
|--------|---|--|---|
| 具体的な取組 | 子どもたち一人一人の実態を把握し、達成感を感じられるような課題の設定や手立ての充実を図る。 | 主体的に活動できる場面を増やす。(自己選択・自己決定の場面の工夫) 学級(交流級・サポート級)・学年・学校の一員としての意識を高め、自分ができる役割に取り組めるようにする。 | 相手を意識し、伝え合うことや思いやる気持ちを育てる。友達を意識し、生活する中でトラブルを乗り越え、協力したり仲良くしたりできるようにする。 |

#### 1年

|        | 〇楽しく学ぶ子   | 〇自分で挑戦しようとする子  | 〇友達と仲良くし、言葉で伝えようとする子  |
|--------|---|--|---|
| 具体的な取組 | 子どもたちが主体的に学べるよう視覚資料や教材の提示の仕方を工夫し、分かりやすい学習活動を行う。一人一人の学びを尊重しながら、学習の基礎基本を身に付けられるようにする。友達と対話をする場면을意図的に設けることで、一緒に学ぶことのよさにも気付けるようにする。 | 学校生活の中の基本的なことを焦らず落ち着いて取り組み、「自分でできた」という自信をもてるようにする。できることを増やして、友達とも助け合えるように働きかける。係活動やクラス集会など、さまざまな活躍機会を設け、楽しい活動をたくさん経験することで、自分でもチャレンジしようとする意欲や態度を育めるようにする。 | 学校生活のきまりを守ることは、互いの安心安全につながるということを繰り返し指導することで、きまりを守ることの大切さを理解できるようにする。友達との関わりでは、担任が言葉を足したり、伝え方を一緒に考えたりするなど、伝え合うための支援をていねいに行う。そして、自分自身で伝えるべき内容は、しっかりと言葉で伝え解決できるように促す。 |

#### 2年

|        | 〇自分の目標に向かって前向きに学ぶ子   | 〇自分で考えて行動する子  | 〇自分も友達も大切にして、仲良く取り組む子  |
|--------|--|---|--|
| 具体的な取組 | 子どもたちが主体的に学びたくなるような授業づくりをしていく。個に応じた支援を取り入れながら、一人一人が間違いや失敗をおそれず学習に取り組み、基礎・基本の学力が定着できるように指導、支援をしていく。 | 係活動や実行委員活動などの自主的な活動を大切にして、児童一人一人が達成感を味わえるようにする。前向きな言葉や行動であふれる学校生活を目指して、日頃から支援をする。 | 自分も友達も大切にして、困ったことや友達のよさを言葉で伝えられるよう指導する。子どもたちの安心安全を第一に考え、教師や保護者、友達との信頼関係のもと、困ったことがあったら言葉で解決できるように支援をしていく。 |

### 3年

|        | ○意欲をもって、<br>すすんで学ぶ子  | ○自分の考えをもち、<br>行動する子  | ○自分の思いを伝え、<br>相手の気持ちを考えようとする子  |
|--------|--|--|--|
| 具体的な取組 | 新たな教科に対して児童の関心・意欲はとても高いものがある。また、学年担任間での交換授業や専科授業などを通して、いろいろな教員で見守りながら進んで学習に取り組めるようにする。 | 普段の学校生活や係・当番・実行委員活動などで、自分で考えて行動できるような場を意図的に設ける。そうした場で、周りの友達と力を合わせて取り組めるように積極的に働きかける。 | 互いに前向きな声をかけ合う姿勢を大切にし、安心して発言したり、行動したりできる学級づくりをめざす。学級や学年、学校のことで一生懸命にがんばろうとしている友達がいるときには、進んで協力できるように促す。 |

### 4年

|        | ○互いに考えを伝え合い、<br>学びを深める子  | ○自ら考え、<br>進んで行動する子   | ○互いのよさを認め合い、<br>協力して活動する子  |
|--------|--|--|--|
| 具体的な取組 | 自分の考えや意見を伝える力を身に付けるために、学習の中で話し合いやグループ活動を充実し、伝える機会を多く設けることで、「伝え合うこと」のよさを感じられるようにする。 | 相手意識や相手の気持ちを考えて行動している姿、自主的に取り組んでいる姿勢を褒め、価値付けてあげることで、自信や喜びをもって次の行動に繋がれるようにする。 | 授業で友達の考えを聞くこと、いろいろな活動に積極的に取り組んだり協力したりすることなどを通して、互いの見方を広げていけるようにする。また、そのことを言葉で伝え合うことで、友達との信頼関係や絆を深めていけるようにする。 |

### 5年

|        | ○自ら考え、進んで学ぶ子  | ○自分の考えをもち、<br>よりよい行動ができる子   | ○互いのよさを認め合い、<br>励まし合って向上する子  |
|--------|---|---|--|
| 具体的な取組 | 課題を明確にしながらか、見通しをもって取り組めるようにする。相手意識をもち、自分の考えを積極的に表現できるようにするため、自分で考える時間をしっかりと設ける。自分の考えをもった上で友達と話し合う活動を継続し、思いを伝え合うよさや喜びを味わいながら、学習を深めていけるようにする。 | 一人一人の意見を尊重し、活動に取り入れていくことでやりがいや達成感を感じるようにする。全体のことを考え行動している場面を取り上げ価値付けながら、自分にできることを具体的に考えて生活できるようにする。委員会活動や行事などを通して、学校の一員として役割を担っていることを自覚し、次の行動へと繋げていけるようにする。 | 様々な活動において、友達との学び合いを体験する場面を多く取り入れ、譲り合ったり尊重し合ったりしながら、互いに認め合い、高め合える関係づくりを目指す。振り返りや意見交流など、言葉で相手に伝えることを大切に、自分や友達のよさを実感できるようにする。 |

## 6年

|        | ○これまでの学びを高め、できた喜びを実感できる子  | ○一人一人が主体的に、よりよい学校生活を生み出す子  | ○心も体もたくましく、人を思いやることのできる子   |
|--------|---|--|--|
| 具体的な取組 | 課題解決した際の達成感を感じながら、また次への学習への意欲をもてるように展開していく。意見の交流の中で、自分の立場を明確にして話したり聞いたりすることで、他者からの意見を整理して考えを広げられるようにする。 | 最高学年として、学校全体に目を向け、課題を学年で共有しながら自分達がすべきことを考え行動できるようにする。自分達が引っ張っていく立場だということを意識できるよう働きかけ、主体的な姿勢や行動を価値付け自信に繋げていく。 | 振り返り活動を大切にし、友達との考えの違いやよさを認め合いながら、尊重し合える関係づくりを目指す。また、異学年（特に一年生）との交流の機会を設け、相手のことを考えた言葉や態度を意識した関わりを広げていけるようにする。 |

## 4. 学校評価アンケートについて

(ねらい) 学校評価は、本校がよりよい学校づくりを目指して行うものです。

学校行事や授業参観での取り組みを通し、保護者の皆様のご意見・ご感想をいただきながら、学校運営の改善・教育の質の向上に努めて参りたいと思います。

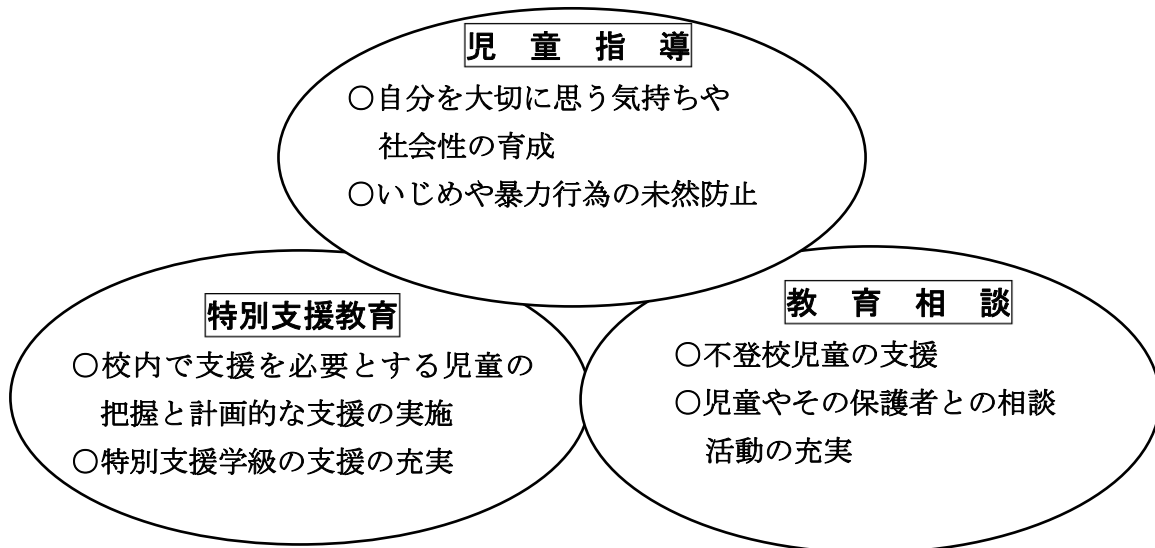
保護者の皆様には、アンケートや感想などご協力いただきたいと思います。子どもたちがよりよい学校生活を送ることができるよう、ご理解・ご協力のほど、よろしく願いいたします。

(結果報告) 12月予定のアンケートにつきましては、結果を集計し、年度末の学校報告会にて報告させていただきます。

## 5. 児童支援について

### (1) 校内支援体制の構築

- 学校全体で組織的な支援を行うための体制づくりを進めます。
- 課題の早期発見と早期対応を行うとともに、課題の未然防止や早期改善に努めます。
- 今年度は交換授業や専科担当の教員による指導で、学級担任だけでなくより多くの教員の目で子供たちを見ていきます。



### (2) 学校と地域・関係機関との連携

- 支援教育コーディネーターが地域や児童相談所、警察等との窓口になって、学校とのつながりを強化していきます。寄せられる意見や助言をもとに児童への理解を深めるとともに、児童へのよりよい適切な支援を考えていきます。

#### 【児童指導の具体的な方法】

- 児童観察
- いじめ防止基本方針を意識した取組
  - \*学年会、職員会議、いじめ防止対策会議等での情報共有
- 異学年交流、交換授業、少人数指導、人権教育週間など、児童指導体制の工夫
- 教職員研修による児童理解のスキルアップ
- アンケートを活用した児童理解
- 共生\*共育プログラムの活用
  - \*川崎市立学校全校で、SOS の出し方・受け止め方教育を含めた7時間実施。
  - \*人とのかかわりを重視したエクササイズを実施し、自己理解、他者理解を深め、豊かな人間関係を築けるようにする。
- 携帯電話、スマートフォン、LINEなどのSNSをはじめとしたインターネットの適正な活用に関する啓発
- 交通安全、いじめ防止、薬物乱用防止に対する啓発

## 【学校での生活や授業のなかで】



## 【教育相談体制】

- ①個人面談・・・前期末（9月）に全家庭を対象に行います。前期の学校生活の様子と学習の様子を保護者の方と共有し、後期の生活に生かすことをねらいとします
- ②教育相談日・・・希望者対象の相談日を昨年度に引き続き年間30日設けています。希望をされる場合は、担任または、支援教育コーディネーターにご連絡ください。設定された相談日にご都合がつかない場合も学校までご相談ください。
- ③専門家来校による教育相談・・・学校巡回カウンセラーや心理士による教育相談も行っています。詳しくは、4月10日配付のお便り、学校ホームページの「教育相談体制について」をご覧ください。

保護者の方々との連絡を密にとりながら、子どもたちの気持ちに寄り添った指導・支援を心がけてまいります。ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

相談窓口は、支援教育コーディネーター 渡邊 則子(わたなべ のりこ) です。お気軽にお声かけください。

片平小学校 ☎ 044-987-6367

※子供たちに、朝会や学級指導の際に次のきまりを確認し生活しています。

# 片平小学校のきまり

＜しゅうだんせいくつ かえ たの がっこうせいくつ  
集団生活のきまりを守って、楽しい学校生活にしよう！＞



## 1. 学校へ来るとき、帰るとき

- (1) 8時10分から8時25分のあいだに登校しましょう。
- (2) 登下校のときは、決められた通学路を通りましょう。
- (3) 遅刻や早退の時には、教室までおうちの人につきそってもらいましょう。
- (4) 通学帽をかぶって登下校しましょう。
- (5) 一度学校にきたら、忘れ物を取りに帰らないようにしましょう。
- (6) 西校舎から校庭を通って下校しないようにしましょう。
- (7) 下校するときは、寄り道せずに家に帰りましょう。
- (8) 下校したら、子どもだけでは忘れ物を取りに来ないようにしましょう。

## 2. 学校で

- (1) 廊下は、静かに右側を歩きましょう。
- (2) 校庭に出る時や校庭から校舎に戻る時はゆっくり歩きましょう。
- (3) うわばきの甲の部分に学級と名前をはっきり書きましょう。
- (4) 学習に関係のないものは持ってこないようにしましょう。  
(シャープペンシルは、持ってきません。)
- (5) ランドセルにキーホルダーは付けません。お守りはランドセルのポケットに入れましょう。
- (6) 体育館の中は飲食禁止です。水筒は体育館の外に置きましょう。
- (7) 外遊びについて
  - ・校庭の植え込み（一段高くなっている所）にはあがりません。また、バックネットのうらには入らないようにしましょう。
  - ・バスケットゴールに乗ったり、ぶら下がったりしないようにしましょう。
  - ・うんていの上へのぼったり、ろくぼくの一番上にまたがったりしないようにしましょう。
  - ・竹馬と一輪車は2年生から使えます。馬跳び遊具は、3年生から使えます。
  - ・使ったものは、もとの場所にきちんと片付けましょう。
- (8) 室内遊びについて
  - ・雨の日や校庭が使えない日は、教室で静かに過ごしましょう。
- (9) ほかのクラスや特別教室へは、先生に言ってから入りましょう。



みんなが安心してすごせるように きまりをまもろうね

## 6. 安心・安全な学校づくりについて

日頃から、横断歩道での見守り、校外委員会や麻生警察署との連携、児童への注意喚起などを行っていくとともに、学校防犯・防災 緊急時の対応について計画的に訓練や準備をしていきます。

### ① 日頃の安全確保

○学校防災マニュアルの見直し

- ・昨年度学校防災マニュアルをリニューアルしました。今年度は日々の訓練の中でマニュアルに不備がないか見直していきます。

○安全点検の実施

- ・毎月、校内施設設備の安全点検を実施する。運動場の固定施設や遊具については常時点検する。
- ・柵や塀等に破損がないか点検する。

○防災用の備品の設置

- ・非常時持ち出し袋を学年に1つ設置し、非常時に使用可能にしておく。
- ・児童一人一人の自助袋は学級ごとにコンテナに収納し東校舎と西校舎の階段下倉庫に備蓄する。

### ② 避難訓練等

※出火想定場所は給食室・用務員室・理科室・家庭科室等を年度で分けて設定。

| 日時                                | 想定  | 訓練目標  | 訓練の種類        |
|-----------------------------------|---|---|--------------|
| 4月中旬                              | 地震や火災発生を想定し、校内の居場所からの安全な避難行動              | 地震や火災発生を想定し、校内の居場所からの安全な避難行動ができるよう、担任とともに確認する。  | 学級活動         |
| 4月28日(火)<br>-実施済み-                | 授業時間、地震による家庭科室からの出火 *校内検索あり               | 基本的な避難の仕方(対処、移動、避難経路等)を身に付ける。   | 避難訓練<br>通報訓練 |
| 5月29日(金)<br>13:40 引渡し開始<br>-全校実施- | 緊急地震速報を受けて関東北部大規模地震発生を想定した避難及び引き渡し訓練      | 大震災を想定した避難の仕方、保護者への適切な引き渡しを行う。  | 保護者への引渡し訓練   |
| 6月25日(木)                          | 授業時間、不審者校内侵入事案発生時の避難行動                    | 基本的な避難と自分の命を守る行動の仕方を身に付ける。  | 避難訓練<br>通報訓練 |
| 9月24日(木)                          | 火事による避難行動。<br>逃げ遅れた児童の検索訓練。               | 火災時の避難の仕方を身に付ける。<br>教員の検索の方法の確認。  | 避難訓練<br>通報訓練 |
| 11月5日(木)                          | 掃除時間に地震による理科室からの出火 *校内検索あり                | 児童が教室等に一同にいない想定訓練。児童はこれまでの訓練を思い出し、危険を予測し主体的に回避して自分の命を守る避難行動を促すための訓練。                              | 避難訓練<br>通報訓練 |
| 1月中                               | 児童、教職員ともに事前予告をせずの訓練。地震による理科室からの出火 *校内検索あり | 児童、教職員(一部を除く)とともに事前に予告はせずに訓練を行う。これまでの訓練を思い出し、危険を予測し主体的に回避して児童は自分の命を守る、教職員は状況に応じた適切な対処の仕方を身に付ける訓練。 | 避難訓練<br>通報訓練 |

### ③ 下校指導

○通学路の危険個所に立ち、実態を把握するとともに、安全な歩行の仕方について指導を行う。

○日時 第1期: 4月7日(火) 8日(水) 9日(木) 3日間 下校指導

第2期: 8月26日(水) 27日(木) 28日(金) 3日間 下校指導

第3期: 1月7日(木) 8日(金)

○場所 五月台駅前、五差路交差点、片平公園前交差点、葉積緑地前、調整池など10か所

### ④ 緊急時の対応

4月8日発行の「特別警報」及び「暴風警報」・「暴風雪警報」発表時等における臨時休業について(お知らせ)をご覧ください。